

- 日本国憲法、教育基本法
学校教育法等 関係諸法規
- 新学習指導要領
- 県教育課程編成要領等
- 県教育行政重点施策
「豊かな学びで
未来を拓く埼玉教育」
- 志木市教育行政重点施策

基本理念

自分が好き 友だちが好き
町が好きな 宗小の子

学園教育目標

ふるさと宗岡を愛し、誇り
を持って、地域に貢献する
子供の育成

目指す学校像

- 子供一人一人の良さを認めて、自信につなげる学校
- 子供、保護者、地域社会、教職員が誇りに思える学校
- 1 子供一人一人が良さを発揮し、意欲的、創造的に活動する学校
- 2 学校の役割をよりよく果たし、学校、地域の信託に応える開かれた学校
- 3 教職員が教育活動の充実のために指導力を磨き、一致協力して組織的に教育活動を展開できる学校

◆学校課題研究（小中一貫教育）

- ふるさと宗岡を愛し、誇りを持って、
地域に貢献する子供の育成
- ～確かな学力を身に付け、夢に向かってチャレンジする15歳～
- 小中学校9年間を見通したカリキュラムマネジメント・授業づくり・授業実践の推進
- 児童・生徒の地元への愛着を育むとともに、将来の自立に向けて意欲的・創造的に学ぼうとする児童・生徒の育成

<令和6年度各学調結果を受けての取組>

- 読書指導の充実・改善
 - 読書タイム：火曜日の昼休みの時間帯に何もない日を読書タイムにする。
 - 授業：学校図書相談員による、本の紹介や読み聞かせを教室で行う。授業に関わる資料の提供や読書コーナー等を積極的に活用する。
 - その他：児童一人1冊本を持つようにする。雨の日や、課題が終わった後などに読む。
- 基礎基本の定着及び思考力の伸長
 - 宿題：総学習動向＆プリント集、県学調復習シート、学力向上ワークシート等の活用
 - 課題終了後の自習：同上
 - 家庭学習・自主学習：同上
 - 音読のワークを1年から3年までで採用
 - 算数授業：算数少数指導実施
 - 教科担任制の2年生以上への拡充
- 授業改善
 - 導入：既習事項の復習
 - 展開：思考させる機会・時間の確保
 - 振り返り：視点を与えての振り返り記入（入力）

目指す児童像

- 確かな学力を身に付け、夢に向かってチャレンジできる児童
- 互いの良さを認め、協力できる児童
- 心身を鍛え、たくましく最後まで頑張りぬくことができる児童

学力向上の課題

- 学ぶ意欲
- 基礎的・基本的な知識や技能
- 語彙力
- 他者に伝える力
- 自分の思いや考えを言葉に表す力
- 情報活用能力

Plan 課題解決への計画(2-3月)

- ・指導計画、指導法、指導評価の改善の立案
- ・全教職員による共通理解

Do 計画に基づく実践（通年）

- ・各教科における実践
- ・校内研修の充実
- ・家庭、地域との連携

課題改善のPDCA サイクル

Action 課題の焦点化（通年）

- ・新たな課題の確認と改善案の立案
- ・次年度の教育計画、全体計画、年間指導計画への位置づけ(1-2月)

Check 実態の把握（通年）

- ・学力調査等の結果の分析(全・県8-9月、市2月)
- ・学校評価による教育活動の成果と課題の分析(11月末-12月)

各教科等と「むねおか学」（総合的な学習の時間）の関連

国語

- ① 言葉による思考
- ② 情報の収集の仕方
- ③ 情報の取捨選択
- ④ まとめ方の学習

社会

- ① 「つかむ」「調べる」「まとめる」の段階的学習
- ② 新聞・プレゼンソフト等の作成による情報整理

算数

- ① 表・グラフ作成、表計算ソフトの活用
- ② データの持ちようを調べて判断、データを使った生活の見直し
- ③ 視点を持った振り返り

理科

- ① 自然を愛する心情
- ② 自然の事物・現象についての理解
- ③ 自然事象についての問題解決
- ④ 科学的な見方や考え方

生活

- ① 個人やグループの課題把握
- ② 本やインターネットを活用した調べ学習
- ③ タブレットを利用したプレゼン、新聞や作文等の表現活動

音楽

- ① 自己表現力：自分の感情や考えを表現する力
- ② 協働性：他者と協力しながら一つの目標に向かう力（合奏・合唱）
- ③ 創造性：独自のアイデアを形にする力（創作活動）
- ④ コミュニケーション能力：意見を伝え合う力（鑑賞やディスカッション）

図画工作

- ① リサイクル素材や地域の素材や文化を取り入れた作品制作
(例：稲穂やわら、「志木市民まつり」をテーマにした絵画 等)
- ② 鑑賞活動：自己表現の場の設定、他者との交流促進
- ③ クラスや学年での造形遊び：協働性やコミュニケーション能力の育成

家庭

- ① 既習の知識・技能や生活体験から課題設定
- ② 見通しを持ち計画・分析し、解決方法を検討
- ③ 実践活動をふまえて改善策を考え表現
- ④ 家庭・地域での実践

体育

- ① 個人やチームの課題設定
- ② 知識の習得
- ③ 課題解決のための分析
- ④ 自己評価と振り返り

外国語 外国語活動

- ① プレゼンテーション：自己表現力・コミュニケーション能力の育成
- ② ロールプレイやシミュレーション：実践的コミュニケーション能力の育成

特別の教科 道徳

- ① 自己理解：自己評価：自分の行動・経験・考えを振り返る力
- ② 共感性：他者の意見や感情に耳を傾け、気持ちを理解し共感する力
- ③ 協働性：他者との関係を大切に、協力し合う力

特別活動

- ① 話し合い活動：多様な考えの折り合いをつける合意形成
- ② 自己決定と実践：問題解決能力
- ③ 委員会活動・クラブ活動：活動の企画運営・合意形成
- ④ 縦割り活動：異学年交流による他者理解・愛校心の育成

各教科等の重点・努力点

国語

- 目標や指導事項の育成にふさわしい言語活動による単元展開を行う。
- 系統性を明らかにした指導計画の作成・活用・検証をする。

◆書く活動の充実

社会

- 地域や学校、児童の実態を生かした指導と評価を行う。
- 基礎的・基本的な知識や技能の確実な習得と、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業展開の工夫・改善を行う。

◆都道府県名に係る指導の徹底

算数

- 児童の実態に即した指導と評価の改善・充実を行う。
- 数学的活動の充実と、算数を学ぶことの楽しさや意義を実感できる学習を展開する。

◆視点をもった振り返りの充実

理科

- 学習指導要領の確実な実施と、授業改善のための指導・評価サイクルを確立する。
- 学習環境の整備・充実と事故防止を徹底する。

◆理科的な思考の流れの言語化

生活

- 学校や地域の特色を生かした年間指導計画の改善と活用を図り、主体的・対話的で深い学びを実現する授業を展開する。

音楽

- 指導のねらいや手立てを明確にし、児童が感性を高め、思考・判断し、表現する一連の過程を大切に学習を充実させる。

◆歌唱指導の充実

図画工作

- つくりだす喜びを十分に味わい、造形的な創造活動の基礎的な能力を培う授業展開の工夫を行う。

◆表現及び鑑賞の活動の充実

家庭

- 日常生活の中から問題を見だし、解決する力を育成する。
- 学習指導要領に示された教科の目標を踏まえた「指導と評価の一体化」を実現する。

◆衣食住に係る指導の充実

体育

- 運動の楽しさや喜びを味わわせ、資質・能力の三つの柱をバランスよく育むことができるよう学習過程を工夫する。
- 健康・安全についての基礎的・基本的な内容を実践的に理解させる。

◆「走る」に係る指導の充実

外国語

外国語活動

- 児童がコミュニケーションを図る楽しさを体験できるように言語活動を充実させる。
- 指導計画の作成と指導改善のために、指導・評価サイクルを確立する。

◆自己表現ができる児童の育成

特別の教科 道徳

- 道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習の着実な実践と充実を図り、個々の児童の成長を認め、励ます評価を行う。

◆児童が自信の持てる道徳の授業の実践

総合的な学習の時間

- ◆小中一貫教育における「むねおか学」を意識した総合的な学習の時間の教育課程を作成し、主体的・対話的で深い学びを実現する学習活動を展開する。

特別活動

- 学級経営の基盤となる、学級活動「(1)学級や学校における生活づくりへの参画」の指導を充実させる。
- 個を生かす児童会活動、クラブ活動を展開させる。

◆生徒会・児童会の交流充実